



学校だより



宮城教育大学附属特別支援学校

令和7年3月19日(水) No. 12

教育目標

- 1 児童生徒一人一人の発達に応じた適切な教育を行い、心身の調和的な発達を図ります。
- 2 社会の一員として、心豊かでたくましく生きる力を身に付けた子供の育成を目指します。

TEL 022-214-3353

FAX 022-214-3362

E-mail : tokushi@tokushi.miyakyo-u.ac.jp

URL : https:// tokushi.miyakyo-u.ac.jp



ふとくの種が大きく 花開く日

校長 跡部 久美

穏やかな陽ざしとそよ吹く風が徐々に春の訪れを感じる3月、先日、ここ青葉山の学舎から卒業生17名の前途を祝し、保護者の方々をはじめたくさんのご来賓の皆様の見守る中で卒業式が挙行されました。卒業生は一人一人、校長としっかり目を合わせ、立派に証書を受け取り、卒業生としての晴れやかな喜びと少しの緊張、そして力強い決意がその目差しから感じられました。学び舎を去って行く寂しさと希望をもって

旅立つ喜びをかみしめて「お別れの言葉」「旅立ちの日に」を歌っている卒業生の表情に涙する保護者の方々の光景にも胸が熱くなりました。在校生の児童生徒たちも、「送る言葉」に思いを込めて卒業式にふさわしい立派な態度で臨んでいました。これからの新たな人生の船出にこぎ出す卒業生に大きなエールを送りました。そして、心のこもったメッセージやピロティの花々等々から卒業生は、在校生からの感謝の気持ちを感じ取ってくれたはずです。

さて、本日をもって今年度の1年間の課程が修了しました。この1年間を振り返ると色々なことがあったと思います。一人一人頑張ったこと、十分に力が発揮できなかったことうれしかったことや辛かったこと、楽しかったことや悩んだことなど、その一つ一つの経験が少しずつ子供たちの成長につながっています。更にふとくの「元気の種」「学ぶ種」「やさしさ・つながる種」「働く種」を大きく育て、次へのステップへと進んでほしいと願っています。

最後になりましたが、保護者、地域、関係者の皆様方にはこの1年間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

卒業式～3月7日～

12年間の思いを一步一步
踏みしめて学舎を巣立ちます



本日、3月19日に修了式と表彰伝達が行われ、修了式では、各学級代表1名の児童生徒が校長先生から修了証書を受け取りました。また、修了式後に、宮城教育大学学長賞の伝達が行われ、第84回全国教育美術展で特選を受賞したことで、学長賞を授与されたことが紹介されました。1年間で多くの「ふとくの種」が、学校内外で花開きました。新年度も更に多くの種が花開くよう、児童生徒一人一人の成長を支えて参ります。



宮城教育大学学長賞授与式

「竹活」をご存じですか。竹林には、間伐の際の処理や手入れの大変さ、土砂崩れ等の自然災害の心配があります。このような問題を解決するのが「竹活」です。竹を燃やして炭にすることで、消臭剤をはじめ、野菜や植物を育てる際の肥料になります。デトックス効果、二酸化炭素排出抑制もあり、「竹活」はまさにSDGsな活動なのです。3月18日、「竹活」を行っている富谷ユネスコ協会の方を講師にお招きし、中学部と高等部で講習会を行いました。どの生徒も、のこぎりや火の扱いに臆することなく作業を進め、青い竹が真っ黒な炭に変わっていく様に興味津々でした。



おしらせ

★離任式につきましては、3月5日付で配布しました「令和6年度 離任式について」をご確認ください。

★令和7年度4月行事の予定につきましては、先日配布しました「4月行事予定」をご確認ください。

(文責 菅原 しのぶ)